

おはようございます。みなさん、元気ですか！？元気があれば、終業式ができる。

明日から、夏休みです。登校する日もありますが、夏休みは何日あるでしょうか？44日間もあります。

「夏休み」という言葉には、胸をわくわくさせる響きがあります。44日間もお休みが続きます。花火をしたり、プールで泳いだり、夏祭りに行ったり、海に行ったり、山にキャンプに行ったり、金魚すくいをしたり、スイカの種を飛ばしたり、楽しいなことがいっぱいあります。

さて、それでは考えてみてください。「学校に来るとき」と「夏休み」とでは、何が違いますか？

たくさんの違いがありますが、学校には時間割があります。夏休みには時間割はありません。学校の時間割にしばらくられない生活、それが夏休みの特徴です。

でも、好き勝手に過ごして良いわけがありません。自由ですが自分に責任を持たなければいけません。夏休みには時間割がありませんから、自分で自分の時間割を作らなければいけません。もう作っていると思いま

元気ですか!?

なつ やす
夏休み

44日



がっこう く
「学校に来るとき」

なつ やす
「夏休み」

なに
何がちがう？

がっこう く
「学校に来るとき」

じ かん わ
時間割りがある

なつ やす
「夏休み」

じ かん わ
時間割りがない

なつ やす
「夏休み」

じ かん わ
時間割りがない

じ かん わ じ ぶん つく
時間割りを自分で作る

じ かん わ じ ぶん まも
時間割りを自分で守る

す。作ったら終わりではありません。自分で作った時間割だから、それを守らなければなりません。



勉強の時間だけど遊びたいという自分に負けないでください。

ということで1つ目のお話は「強い気持ちで、自分の時間割を守ること」というお話です。

2つめのお話です。

皆さんには、後悔しない、悔いの残らない夏休みにしてほしいと願っています。夏休みは、その時々楽しいことはありますが、終わってみたら何も心に残っていないのでは、残念です。

こうかい なつやす
後悔しない夏休みのために
こころ のこ なつやす
心に残る夏休みのために

やりきった自慢

夏休みには、何か1つでも2つでも心に強烈に残ることをやってみることを薦めます。つまり、夏休みが終わったときに「やりきった自慢」ができるようにしてほしいです。

「家族で、テーマパークに行きました。○○ランドに行きました。」こんなこともあると思いますが、校長先生が考える自慢とは違います。

「毎日、30分、読書をして、夏休み中に20冊の本を読み切りました。」

「毎日、家族の夕食の片づけをしました。」

「バスケットボールの練習に休まずに行き、ドリブルシュートがいつでも入るようになりました。」

「おうちのトイレ掃除を毎日がんばりました。」

「毎日、漢字を5つずつ覚え、約200字の漢字を書けるようになりました。」



「おうちのお風呂掃除を毎日がんばりました。」

自分のため、人のためになることを続けてみましょう。

自分で決めて、自分で自分の約束を守り、やりきったことが1つでも2つでもあれば、この夏休みは、後悔どころか何年たっても「あの年は、これができた」と心に残ると思います。

自分のためになること、人のためになることを続ける
自分で決めて、自分で自分の約束を守る

やりきった**自慢**

今日は、夏休みに向けて2つのお話をしました。

1つめは「強い気持ちで、自分の時間割りを守ること」というお話、2つめは『やりきった自慢』ができる夏休みにする」というお話でした。

強い気持ちで、自分の時間割りを守る！

やりきった**自慢**

2つのことをがんばって、2学期の始業式、9月2日の月曜日、653人が元気に体育館に集まりましょう。

